

1stペンギン

令和6年11月26日
江戸川区立松江第五中学校
第1学年通信 No.26
イラスト： [] (3組)

文化祭 作文特集① ～成長と絆～

遅くなってしまいましたが、今回は「文化祭の作文特集①」です。中学校に入って、初めて文化祭だったので、みんなそれぞれに感じるものがあったと思います。文化祭や合唱コンクールを振り返ってみて、その思いを作文として書きました。

空駆ける成長

4組： []

一年四組最初で最後の文化祭、と言われると頭の中で思い出されるのは、クラス全体で心を一つにしたことだった。

文化祭が始まる一・二週間ほど前、私は歌の練習をするためスマートフォンで「空駆ける天馬」の音源を聞いていた。私はわくわくしていた。なぜなら、田屋先生から「この曲は、数ある曲の中でも難しい曲。でもこの曲をしっかり歌えたら最優秀賞もありえなくはない。」と教えてもらったからだ。運動会のあの日、私は一組や三組に負けた悔しさから今日まで、文化祭で最優秀賞をとって一組や三組に賞をとることができる！無能ではないと知ってほしいと思っていた。そのはずだった。

初めの練習で、そうでないと気づいた。一組など他クラスは関係ない、賞よりももっとすごい何かをとることができればいいと。その後の練習では朝から晩まで行い、その度、パート内で改善の話し合い、親などに聞いてもらうなどして努力に努力を重ねていった。自分の人生の中で一番努力した一週間だと感じられた。本番が近づいてくる中、パート内での仲間割れ、声が出せていない人がいるなど多くの課題が出てきた。それでも話し合い、練習をし「壁」をのり越え、団結力が急速に高まっていった。本番前日、先生は「全力で楽しめばいい」と言った。重荷が取れたように心が晴れていった。当日は、その心と持ち前の明るさ、そして最強の団結力をもちステージに上がった。全ての力を使い歌いきった。だが結果は悔しい結果となった。努力もすべてくずれたようだった。

それでも私は、胸を張って「四組が一番の団結力最優秀賞です！」と言えると思った。この成長と共に、残りわずかな四組で努力しようとその日その場で、決心した。

文化祭を振り返って

3組： []

ぼくは、入学してから約六ヶ月が経ち、学校の大きな行事、文化祭に参加しました。文化祭で学んだことは、三つありました。

一つ目は、みんなと協力するということです。文化祭では合唱コンクールがありました。合唱練習のときは最初、みんな音程がずれていて、ばらばらでした。でも、文化祭実行委員の二人がリーダーになって、「この部分を直した方がいい」などの意見を出し合って、それをまとめてくれました。そのおかげで本番もきれいに歌うことができました。みんな協力できていなかったら、こんなにいい歌を作りあげることができなかったと思ったからです。

二つ目は、目標をたてることです。ぼくは歌う練習のときに音程をずらさない、アルトにつられないように歌うことを目標にして練習しました。目標があることで、「これを達成しよう」という感情がでてきてがんばることができました。

三つ目は、拍手をすることです。合唱が終わった後の拍手は、当然やると思います。順位が発表されたときに1位の人達はうれしい気持ちになると思います。しかし、1位をとれなかった人達は、拍手をしたくなくなると思いますが、それは違って、お互いがんばったから拍手をするのです。拍手をした方がより文化祭が楽しくなると思いました。

この三つのことは、普段の生活の中でも使えると思います。習い事の中でも、目標をもつことや協力するなどのことをこれから活かしていこうと思いました。

<文化祭を支えた実行委員>

文化祭を支えてくれた実行委員を紹介します。毎日、放課後に残って文化祭の準備をしてくれました。

合唱練習でも、クラスの練習計画を立てて、みんなを引っばってくれました。本当にありがとう！！

1組	[]	[]
2組	[]	[]
3組	[]	[]
4組	[]	[]

(敬称略)



前向きな声掛けをして
合唱練習を引っばってくれました！！